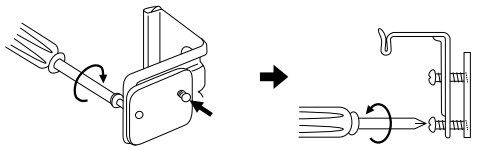
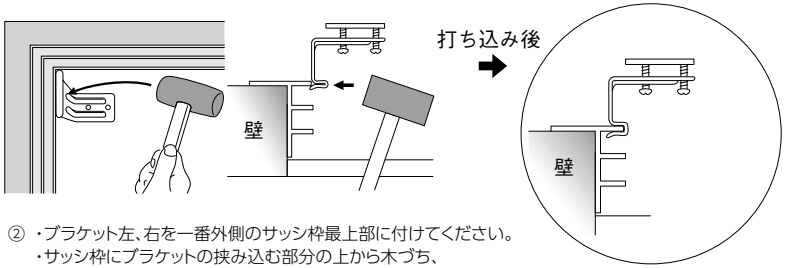
遮熱スクリーン取り付け方法

①



① ブラケットとプレートを止めている2本のネジをゆるめ、
ネジの先端がプレートから出ないようにしてください。

②

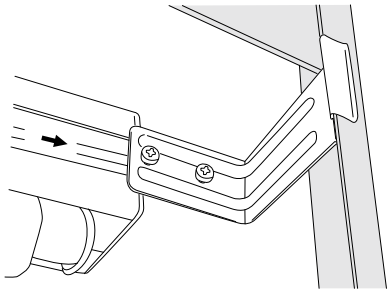


② ・ブラケット左、右を一番外側のサッシ枠最上部に付けてください。
・サッシ枠にブラケットの挟み込む部分の上から木づち、
プラスチックハンマー等で完全にはまり込むまで打ち付けて固定してください。
※木づち、プラスチックハンマーがない場合は金づちに布を巻くか、
あて木をしてください。

③ 部屋内から見た図

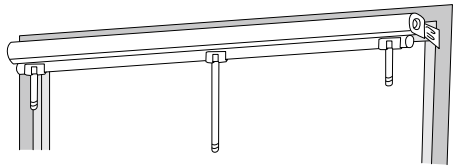
③ ブラケットがしっかり固定されているかご確認ください。

④



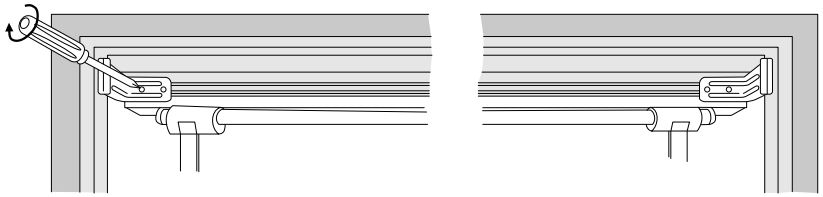
④ 本体の裏面の溝部分にブラケットのプレートが入るように本体を
右側から差し込んでいき、次に左側のブラケットに本体を差し込みます。

⑤



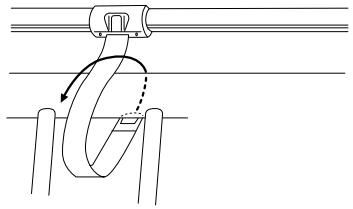
⑤ 本体がブラケットに差し込まれたら、本体をサッシの窓枠全体の
中央に移動させます。

⑥



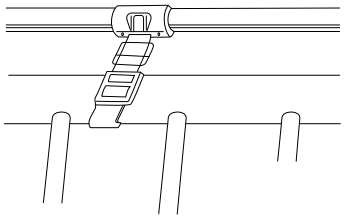
⑥ 本体がブラケットに差し込まれたら、本体をサッシの窓枠全体の中央に移動させた後、
仮止めしていたブラケットの2本のネジを左右共にプラスドライバーで締めて
本体が動かないように固定してください。

⑦



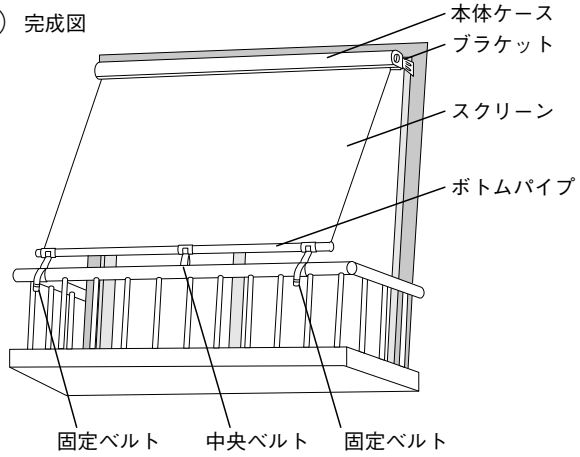
⑦ ボトム中央のベルトでスクリーンをゆっくり引き下げます。
片手でボトムパイプを持ったままもう片方の手でボトムパイプの
左右に付いている固定ベルトを手すりに巻き付けます。

⑧



⑧ 左右の固定ベルトはバックル連結式になっております。
バックベルトの取り付け方法は別紙参照願います。

⑨ 完成図



⑨ スクリーンを巻き上げる場合は、中央ベルトを手すりに巻き付けて
左右の固定ベルトのバックルをはずし、中央ベルトを持ちながら
ゆっくり巻き上げてください。
完全に巻き上がるまで手は離さないでください。

保証について

取扱説明書の注意書きに従った使用状態で、万一、故障した場合には、お買い上げ日より1年間は無料修理させて頂きます。ご依頼になる場合はお買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間内でも次の場合は原則として有料となります。
(イ)使用上の誤り及び不当な修理、改造による破損。
(ロ)お買い上げ後の輸送、落下などによる破損。
(ハ)強風、突風などの悪天候による破損。
(ホ)特殊環境(塩害、薬品、温泉、薬品のガス等)による汚れ、破損。
(ヘ)障害物による汚れ、破損。

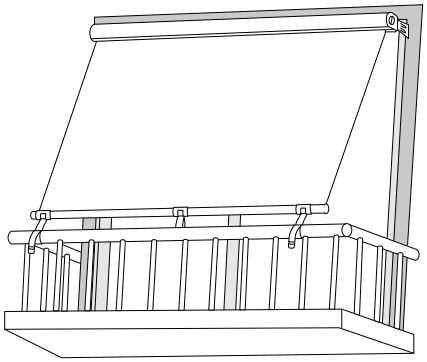
販売元
シンコールインテリア株式会社　滋賀県東近江市瓜生津町1723　☎0748-25-0151

遮熱スクリーン
取り付け方法及び取扱説明書　（アルミサッシ専用）

このたびは当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
この取り付け方法及び取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。
この説明書は大切に保管し、わからないときは再読しご活用ください。

●はじめに

この商品を取り付ける前に、梱包されております部品(本体、ブラケット)等をご確認ください。万一不足している場合、もしくは不良品がございましたら、お買い求めになった販売店又は販売元までご連絡ください。



●部品明細

商品名	入数
本体（スクリーン）	1台（固定ベルト付）
ブラケット	1セット（左右共通2コ）

※製品は改良の為、仕様を変更する場合がございます。ご了承願います。

●必要工具

プラスドライバー
プラスチックハンマー、又は木づち

⚠ 取り付け時の注意

※この商品はアルミサッシ窓枠専用です。網戸用サッシ枠の左右部分を使用し取り付けますので、網戸が付いている場合は取り外してから、窓枠周辺に干渉物のないことをご確認の上、必ず水平に取り付けてください。
※作業は必ず2人以上で確認し合いながら行ってください。
※取り付け作業時は雨や風のないこと、また、窓の下に人やこわれ物等がないことを確認し、部品等を階下に落としたりしない様十分ご注意ください。
※取り付けに際しては付属部品(本体、ブラケット)等の取り扱いには、ケガをしないよう十分にお気を付けください。なお、危険ですので、小さなお子様の手に触れないようご注意ください。
※本体の分解・改造及び部品の改造は、絶対にしないでください。

⚠ 取り扱い上の注意

※本体(スクリーン)は、表示サイズ以上引き出しますと故障の原因となりますので必ず表示サイズ内の高さでご使用ください。
※本体(スクリーン)に物をかけたり、また、ボトムパイプを強い力で引っ張ったりしますと変形したり、破損、落下の原因になります。危険ですのでおやめください。
※雨や雪などがスクリーンに直接かかる場合、または予測される場合はスクリーンを必ず巻き上げておいてください。もし、雪やみぞれ等が付着したり凍結した場合は、これらを必ず取り除いてから巻き上げてください。
※スクリーンに風が強くあたる時は、スクリーンが激しく揺れ、変形したり、破損、落下の原因になりますので必ず巻き上げておいてください。
※留守になる時や夜間おやすみになる時は、必ず巻き上げておいてください。
※スクリーンは洗えません。スクリーンについたホコリは、はたきや乾いた布で軽くはらってください。漂白剤、液体洗剤等は使用しないでください。変質、変色や、シミ、カビなど汚れの原因になります。
※スクリーンに殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジンなどの揮発性のあるもので拭いたりしないでください。変質や変色の原因になります。
※ボトムパイプやスクリーンケースの汚れは中性洗剤液に浸し、軽く絞った布で拭き取った後、乾いた布でからぶきしてください。シンナー等の有機溶剤は変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

日本製